



しもじ通信 vol.204

2025 年

5 月号

『敗血症って何？』



しもじ内科クリニック院長
下地 栄壮



和歌山県知事が知事公舎で意識不明の状態で見られ、敗血症性ショックで亡くなったとの報道がありました。聞き慣れない病名でどのような病気なのかご存じない方もおられると思いますのでご説明します。

敗血症は、「感染症に対する体の制御不能な反応により、臓器障害を引き起こす生命を脅かす状態」と定義されています。分かり易くいうと、“細菌・ウイルス・真菌などの感染が引き金となり、肺や心臓などの全身の臓器に障害をきたしている状態”です。

肺炎や胆嚢炎、腹膜炎、尿路感染症、術後感染症などが原因となることがあります。罹患しやすい人は、高齢者や新生児、慢性疾患(糖尿病・腎疾患など)を持つ人、免疫力が低下している人(がん治療中や免疫抑制剤内服中や手術後など)、カテーテルや人工呼吸器を使用している患者さんなどです。

👉 症状

主な症状は発熱・悪寒・体温の異常・頻呼吸・頻脈・血圧低下・意識もうろうなどです。血液検査や細菌検査、画像検査、全身の状態から総合的に診断します。

👉 治療

治療は感染に対する抗菌薬の早期投与、感染源の除去(手術やドレナージ)、大量輸液や昇圧薬による血圧の安定化、人工呼吸器や透析などによる臓器のサポートです。

敗血症の中でも最も重篤な状態で、血圧が著しく低下し臓器への血流が不足する状態(ショック)を“敗血症性ショック”といいます。

死亡率は 30～40%で、日本での年間死亡者は10万人を超えると推計されており、治療が遅れると致死率が上昇するので、早期発見と早期治療が鍵となります。

お知らせ

ゴールデンウィークは、暦通り 4月29日(火)・5月3日(土)～6日(火)をお休みさせていただきます。ご迷惑をお掛けして大変申し訳ございませんが、宜しくお願いいたします。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦 3 丁目 2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL:092-605-6300